

第17回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について(高校生部門)

賞名	推薦種別	所属校氏名	学年	受賞理由	
				研究テーマ等	研究発表・コンテスト等での成績
最優秀賞	個人	高志高等学校 市川 遙一	3	化学グランプリ2025	第36回日本数学オリンピック予選 Aランク本選出場 (R7) 化学グランプリ2025 銅賞 (R7) 化学グランプリ2025 支部長賞 (R7) 第35回日本数学オリンピック予選 Aランク本選出場 (R6) 第24回日本情報オリンピック予選 Bランク 敢闘賞 (R6) ふくい理数グランプリ数学グランプリ 個人優秀賞 (R6) ふくい理数グランプリ数学グランプリ 個人最優秀賞 (R5)
				<ul style="list-style-type: none"> ・化学グランプリという、3000名程度が参加する全国大会において、銅賞という優秀な成績を収めた。 ・数学オリンピックや情報オリンピックでも予選を突破し、本選への出場を果たした。 ・ふくい理数グランプリ数学グランプリでは、2年連続で個人賞を受賞した。 	
優秀賞	グループ	藤島高等学校 佐藤 健太郎 菅江 天 橘 知里 西本 健人 松田 倅希 堀 陽向 橋本 航太 伊澤 宗一郎	2,3	科学の甲子園全国大会	第14回科学の甲子園全国大会 総合6位 (R6)
				<ul style="list-style-type: none"> ・科学の甲子園全国大会において、福井県の代表として、総合成績で第6位という優秀な成績を収めた。 ・知識だけでは解決できない探究型の課題に対して、論理的思考や科学的実証的アプローチに基づいた検証を重ねたことによる完成度の高さが評価された。 	
優秀賞	グループ	藤島高等学校 堀 陽向 中村 秀	3	高濃度溶液における凝固点降下	第20回高校化学グランドコンテスト 審査委員長賞 (全国4位) (R7) プラチナ企業賞 (日本ゼオン株式会社) (R7) SSH生徒研究発表会 (R7)
				<ul style="list-style-type: none"> ・凝固点降下 (水溶液で、濃度に応じて凝固する温度が純水より低下する現象) について、高濃度の溶液では現在知られている理論式から逸脱する原因を探究した。 ・尿素や糖類を用いて実験を行い、溶質ごとに凝固点効果の度合いが異なることなどの研究を通して、凝固点降下式を提案し、高濃度でも適用可能なモデルを構築した。 	
奨励賞	グループ	藤島高等学校 西本 健人 菅 将太	3	塩析の研究 ～効率的な解乳化へ～	第20回高校化学グランドコンテスト ポスター賞 (R7)
				<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚染の原因となるエマルジョン (水と油のように、通常混ざり合わない液体が微細に分散している状態、マヨネーズなど) の効率的な解乳化を目的として研究を行った。 ・実用化が容易な方法に着目して研究を行い、様々な角度からイオンの性質と解乳のしやすさの法則を考え、環境負荷の小さい解乳化剤の作成に取り組む姿勢が評価された。 	
奨励賞	グループ	武生高等学校 恩田 紗良 時田 美和 渡辺 一稀	2	放射線量測定による殿上山断層のルート検証	第73回福井県高等学校理科クラブ研究発表会 優秀賞 (R7) 第69回日本学生科学賞福井県審査会 優秀賞 (R7)
				<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究では地下水中のイオン濃度を測定し比較する方法が用いられていたが、放射線量測定という新たな手法を取り入れることで、地下水が得られない地点でも調査を可能とした。 ・先行研究で推定した断層のルートを検証するだけでなく、新たな断層の存在を確認できたことも評価された。 	